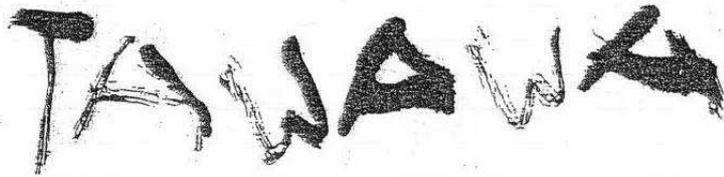


たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2005年10月28日

60号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

たゆみない活動を



朝夕の冷えこみが秋の深まりを伝えています。いろいろと行事もあり忙しい季節ですが、私たちの支援するグループホームも運営委員会を済ませ、私たちも「支える会」最大のイベントチャであるリタイアコンサートを9月に無事終了し、ようやくまとめの仕事も終わりました。いつもの取り組みに比べ1ヶ月も短い準備期間の上夏休みの季節を含んでいましたので、実行委員の皆様には、だいぶご無理いただいたこととおもいます。また、ご協賛くださった皆様、チケットをご紹介くださった皆様、ご来場の方々に感謝しつつご報告をいたします。

選挙が終わり、また障害者自立支援法にたいする取り組みがはじまりました。区の地域福祉保健活動計画へのかかわり、障害者が地域で安全に暮らせるためのセーフティネット構築の活動など、たくさんの障害者をめぐる課題があります。そんな中で、私たちも地道なしかし、たゆみない活動を続けて参りましょう。

チャリティーコンサートの報告

1. 日 時：平成17年9月21日（水） 午後6時30分開演
2. 会 場：港北公会堂
3. 公演内容：ロシア民族アンサンブルベリョースカ<白樺>による演奏とダンス
4. 参加者：アーティスト26名、随員2名、 運転者2名
実行委員会スタッフ40名、他に 照明技師1名、手話通訳1名
5. 来場者：603名 他に活動ホーム「しもだ」青年クラブがコーヒー店で参加
6. 会計報告：チャリティーコンサート特別会計
収入（チケット売り上げ、協賛金・助成金、ご祝儀・物品販売その他）2,219,490円
経費（出演者謝礼、印刷費、会場費、食料費、雑費 等の支出） 878,515円
差し引き収益金1,340,975円（本会計に繰り入れ）

* 当日は、支援をしていただく障害者のメンバーたちを紹介し直接ご挨拶をする時間も取れました。また、ロビーでは、重度重複障害者の生活を紹介する写真パネルも掲示し、ご覧いただく中で、多くの方にご理解も深めていただけたと思います。

助けあい支えあうこと、

岩崎 千恵



私は、昨年 11 月で福祉に関わる仕事のすべてから引いて、間もなく 1 年が経ちます。月日の経つのは早いですね、これから何を始めようかを模索しながらも、古い書類の整理に追われているうちに日々が過ぎて行き、齢を考えたら、ちょっとあせっているところでした。

先日は久しぶりで、チャリティコンサートを楽しませていただき、皆にお逢いする事ができました。会場いっぱいの人々の熱気とよつばの方々の変わらない笑顔に感動しました。大ぜいの人の理解と、支えが結集して大きな力になる事を実感しました。

この頃、気が少し緩んでいるのか風邪を引いてしまい、4 日ばかり家にこもっておりました。その時大雨の中を夕食のおかずや、花を届けてくださったり、買い物をして下さったりと何人かの友人に助けられました。昨今、高齢者や障害者の引きこもりが話題となっています。いざの時に助け合い支えあえる近隣が居る事はとても心強いです。

支える会の皆様の活動を拝見して勇気が出ます。私もいま行っている「お互いさまの助けあい」の輪を少しずつでも広げて行く事に、前向きで考えたいと思っています。気負わず、あせらず。

よつばの皆様もどうぞお元気でお過ごし下さい。そして支える会のご活躍と発展をお祈りしております。

グループホームの暮らし

寺田 偕子

毎週木曜日に活動ホーム「しもだ」で、ボランティアとして一緒に歌を歌ったり運動したり楽しく過ごさせて頂いています。

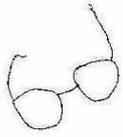
所員さんの内 8 人が 2 つのよつばホームから通っていらっしゃいますが、みなさん本当に明るく、グループホームでの出来事を楽しそうに話してくださり、帰りには「よつばホームに帰る」という言葉を聞くたびにグループホームでの充実した生活を想像します。

2 つのグループホームにお邪魔したことがあります。設備もいきとどき、広々とした空間でやさしい職員さんと楽しく暮らせることは本当にすばらしいことだと思いました。よつばホームを立ち上げたご家族はすごい！の一言につきます。

私にもてんかんの発作のある娘がおりますが、彼女自身も最近「自立」を考えるようになり、グループホームのことなどを真剣に考えているようです。親も本人が一番望むような形で将来を考えてやりたいと思いますが、思うばかりでなかなか先に進みません。

障害のある人達みんなが地域で心地よく住めるような社会になるよう願っています。





めがねのこえ

はじめて全国肢体不自由児者父母の会の皆と、韓国脳性まひ者福祉会の主催する「オットギ祝祭」に参加する旅行に行きました。

いつも旅行は 友だちや家族と一緒になので、母と長く出かけるのは 久しぶりでした。楽しかったし いろいろ驚くことも おおかったです。

脳性マヒ者福祉会の「オットギ祝祭」では 小さい障害児たちや 障害者の歌や シャボン玉ゲームなどがあって 日本から行った 私たちも歌いました。

会場は、公園に舞台が 作ってあって、まわりには作業所などの作品を売る売店があったり 松林の 小道にそって 障害者の絵や 書などの作品が イーゼルに載せて展示されていました。面白かったのは 車椅子の空気を入れたり ちょっとした修理などをするボランティアのコーナーがあったことです。私も 空気を入れていただきました。

日本とは少し違うなと思ったことは、私たちも 同じように 12月9日の障害者の日などには、知的障害者と一緒に 楽しいイベントもしますが、このような時は 障害者たちや 親たちや職員たちやが たくさん集って 発言したり 大会宣言をしたりします。韓国では 少し上のえらい人が 挨拶するだけだったので 残念だと思いました。



夜 韓国の方たちとの パーティーがありました。私は 同じテーブルにいた 韓国の障害をもった方やボランティアさんとで お話しをしました。文字カードで お話しが出来たので とても嬉しかったです。私と同じように 絵を描いたり詩を作ることが好きな人や、広報の係りで会報を作っている方もいて、いろいろ話せて楽しかったです。これからも ときどき お手紙を 出して友たちになれればいいなと思います。

障害者の旅行は、今度のような ツアーで行くのも いいなと思いました。ふだんは会わなかった障害者との交流もあるし、親たちだけでは 荷物を運ぶのも大変なので 助けていただいて いろいろな所を見ることも出来ていいと 思います。ほんとうに 楽しくいい旅行でした。

大原 友子

ご入会、ご継続 ありがとうございます

《賛助会員》

[敬称略]

渡辺るり子 村山 愛子 西富 房江 平等 志成

【ご寄付】

名井 隆子

(17年10月26日現在)

今月のよつばホーム

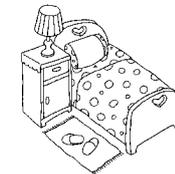
よつばホーム

訪問看護の話

月に一回、第3木曜の午後4時になると、訪問看護センターから看護師さんが2名来てくれます。毎回入居者の検温、血圧測定をした後に健康に関する相談やアドバイスをしてくれます。しかし体調の話だけでは実際終わりません。4人とも看護師さんと日常的な出来事を報告するのを楽しみにしています。

藤田さんが上半身のマッサージを受けて“あぁいい気持ち”といい気分に浸っている間、もう1人の看護師さんに勢津子さんは最近の外出の話、花岡さんは熱心に取り組んでいるビーズの話などしているようです。

次郎さんは帰宅後は風呂→ビデオという生活リズムがあるため今まで夕方の訪問看護にはあまり協力的ではなかったのですが、ここ半年ほどでだいぶ受け入れてくれるようになりました。この間、次郎さんは自分から“プーさんのふりかけ”を花岡さんにプレゼントした話をしていました。



第2よつばホーム

「ただいま〜」夕方4時頃に入居者が帰宅してきます。日中活動が楽しかったからか、顔を振りながら機嫌よく帰宅する阿部さん、ニコニコ顔の大原さん、今日は誰が勤務か職員の顔を見つめている富岡さん、そして時々「ただいま」と言ってるかのように声を出してくれる山田さん。職員やヘルパーさんなどが「おかえり！」と玄関でお迎えます。

お茶を飲んでから夕飯まで各入居者の時間が流れ始めます。お茶を一気に飲んで書き物？勉強？に集中している人や、好きなCDやテレビを見ている人、食前に入浴する人…。でも、夕飯はだいたい全員揃ってから食べ始めるようにしています。職員やヘルパーさんの人数も多いので、夕飯はとってもにぎやかな雰囲気です。先日は総勢10人という時もあったり？！

夕飯が終わると、和室で横になりながらテレビを見てゆったりとしたり、自分のお部屋で明日の準備をしていたり、時々職員とボール投げを楽しんだりと消灯までの時間を過ごします。職員も一緒に可愛い動物が出てくる番組を見たり日中の様子を聞いたり入居者との時間を楽しみます。

そして、だいたい9時前後になると入居者はそれぞれのお部屋に入り就寝します。10時前後にはお部屋から「スースー」という寝息が聞こえます…。

明日は晴れるかな？明日の日中は何をやるかな？夜間はぐっすり眠れるかな？…
添い寝をしながら職員の夜もふけていきます。